



CONTENTS

vol.1

- | ICTは「教具」から「文具」へ
- | まずはここから！
- | これは使える！キーボード操作
- | タブレット活用教員ネットワーク

見たい項目をクリック 

1人1台タブレット端末

ICTは「教具」から「文具」へ

「教えるための道具」から「学ぶための道具」への転換

ICTは当たり前存在

これからの社会ではICTの活用は大前提になります。児童生徒が端末に触れる機会を増やすことから始め、日常的に使っていく習慣を作りましょう。特別なことをする必要はありません。今までどおりの提出物の回収や健康観察などに、ICTを少しずつ取り入れてください。苦手な先生も「習うより慣れよ」です。

大人が使うのと同じように

大人は、連絡や情報収集、資料の作成など、意識することなくICTを活用しています。それは児童・生徒にとっても同じことで、特別なことに特別な考えで使うのではなく、大人と同じような使い方ができるようにしましょう。

使うことを目的にしない

全ての教育活動をデジタルに置き換えることがICTの活用ではありません。使ってみて、アナログの良さが生かせるところはそのままに、デジタルの良さが生かせるところは積極的に使いましょう。

- 児童生徒のノートやワークシートの写真を撮って提示してみましよう。

児童生徒の考え方が書かれた部分を撮って拡大提示すれば、考え方を他の児童生徒と共有しやすくなります。特に絵図を使って説明させるときなどに効果的です。

- 最終的には児童生徒が自分で撮った写真を使って、説明できるようにします。



② 動画を撮る

スピーチ練習、体育、部活動、合唱練習など動きを伴う活動では、動画を撮って振り返りに使ってみましよう。

児童生徒が自分の動いている姿を客観的に見ることは、フォーム改善などにとっても有効です。

また、理科の実験なども動画で記録しておくことにより、何度も再生させて検証することができます。



③ 端末を近くに置いて検索できるようにしておく

授業中には生徒も教師もインターネット検索ができる端末を近くに置いておくようにしましょう。教師が想定していなかった質問にもすぐに対応できます。口頭で説明するよりも動画や画像で見せた方がわかりやすいものもあります。



児童生徒が自分で調べる場合には、信頼できる情報源であるかを確認するようにしましょう。

④ 教育系クラウドサービスにログインしてみよう

県内の多くの学校ではGoogle Workspase for EducationやMicrosoft365 for Educationのアカウント(メールアドレスとパスワードからなるサービスを利用する権利)が配布されています。

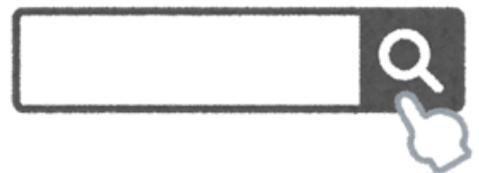
まずは次の手順でログインしてみよう。最初にアプリケーションをインストールする必要はありません。

(1) ChromeやSafari、MicrosoftEdgeで

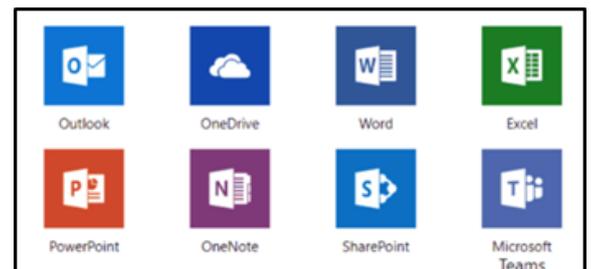
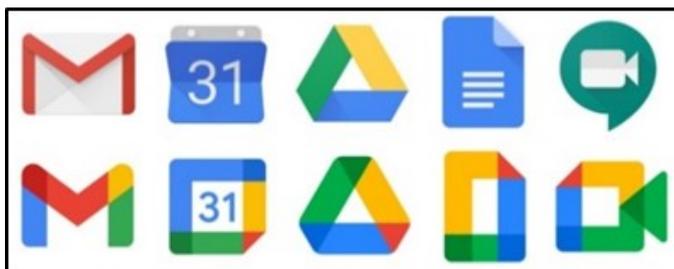
「Google ログイン」または

「Microsoft365 for Education ログイン」

と検索



(2) 配布されたアカウントを入力してログイン



(3) ログイン後は各アプリケーションが使い放題です。

これは使える！キーボード操作

ブラウザを使いこなすショートカット集

タブの操作を効率よく

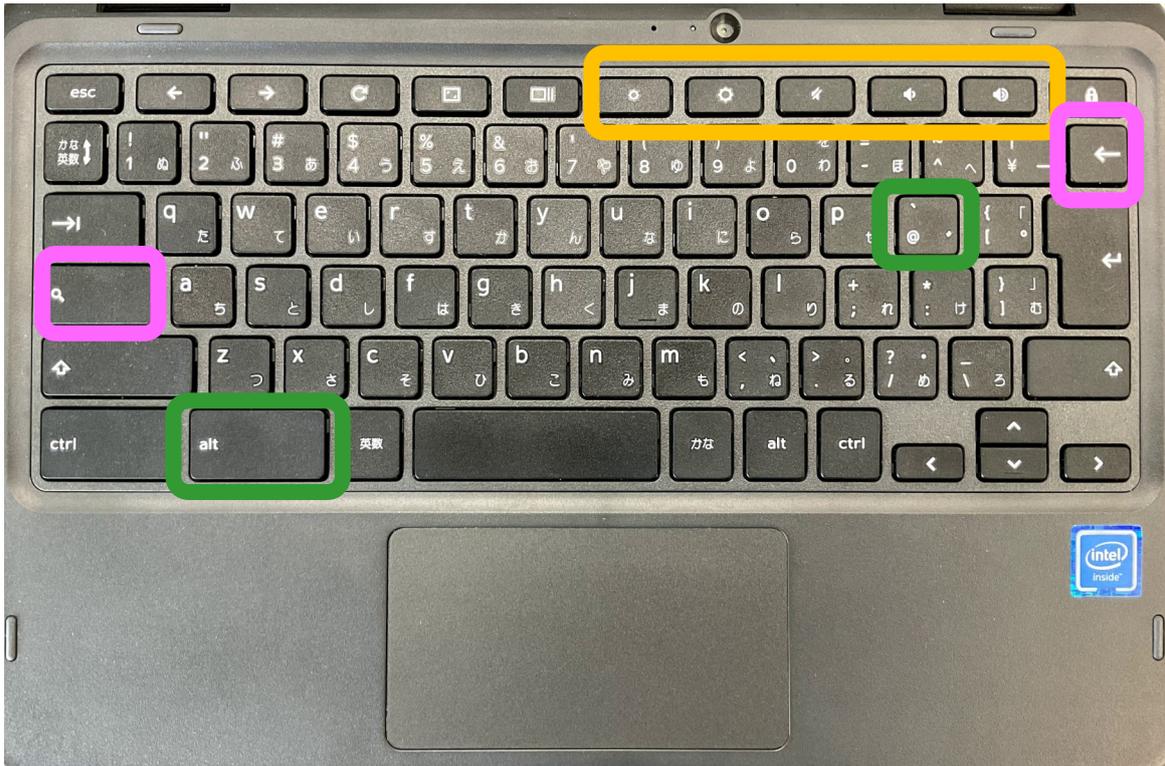
指定したタブに移動する	Ctrl+1～8
新しいタブを開く	Ctrl+t
次のタブに移動する	Ctrl+Tab
前のタブに移動する	Ctrl+shift+Tab
タブを閉じる	Ctrl+w
新しいウィンド開く	Ctrl+n

ネット検索を効率よく

アドレスバーのurlを選択	Alt+e
www. と.comを追加して開く	Ctrl+Enter
ページを下にスクロール	Space
Chromeメニュー表示	Alt+e

※ChromebookのShiftキーは  です

Chromebookで使えるキーボード操作



オレンジの枠

左から ひらがな変換 全角カタカナ変換 半角カタカナ変換
全角英字変換 半角英字変換ができます。

WindowsPCの F7~F10キーと同じようなことができます。

ピンクの枠

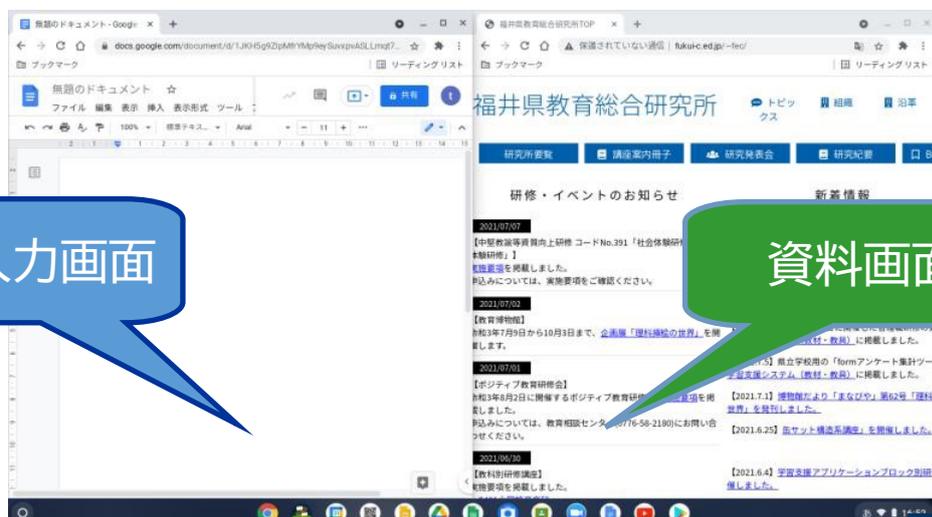
2つを同時に押すことで、Delete キーと同じことができます。

みどりの枠

2つ(alt キーと@キー)を同時に押すと画面に表示されている
ウィンドウが半分になります。空いたスペースにchromeのタブや
別のアプリケーションを表示し、再び同様の操作をすることで
並べて表示することができます。

文章入力画面

資料画面

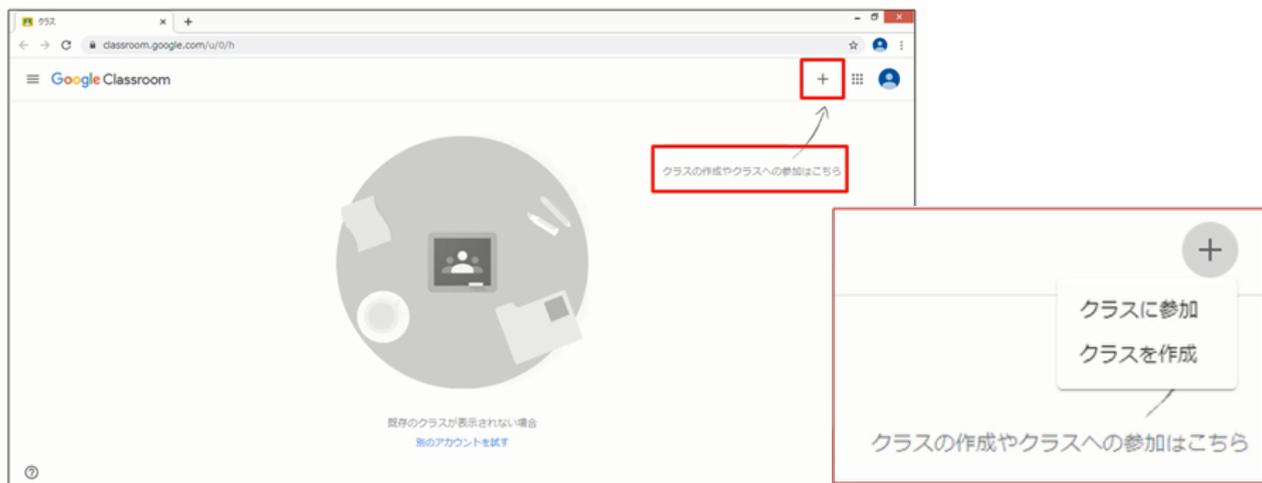


タブレット端末活用ネットワーク

教育総合研究所では本年度、県立学校教員対象にタブレット端末活用を促進するために教科別のGoogleクラスルームを開設しています。教科別クラスルームはクラスコードを発行していますので、ご自分が担当されている教科だけでなく、興味のある教科も随時参加していただければ幸いです。適宜情報発信していきますので、ぜひ御参加ください。

クラスルームは、県立学校教員対象ですが、小中学校の先生方も、各市町各教科でこのような情報交換の場を作ってみてはいかがでしょうか。

○クラスルームに参加する方法



Googleクラスルームのアプリケーションを選んでいただき、ご自分の教員アカウントでログインしてください。初めてログインすると上の画面になります。画面右上の+をクリックして、クラスに参加を選んでください。クラスコードを求められるので、教科別クラスルームのクラスコードを入力するとクラスルームの画面が出てきます。

○クラスコード

国語 k7tbzar

数学 toemqws

地理歴史・公民 ij54 l mc

理科 niv22po

英語 syh6cjh

情報 yam2sby

クラスルームに投稿されている内容

○Googleアプリケーション活用の基礎動画

Googleスプレッドシートを使った児童生徒の意見・考えのリアルタイム共有

<Googleスプレッドシートの配布からシート表示までの手順>

①事前にスプレッドシートを作成する。



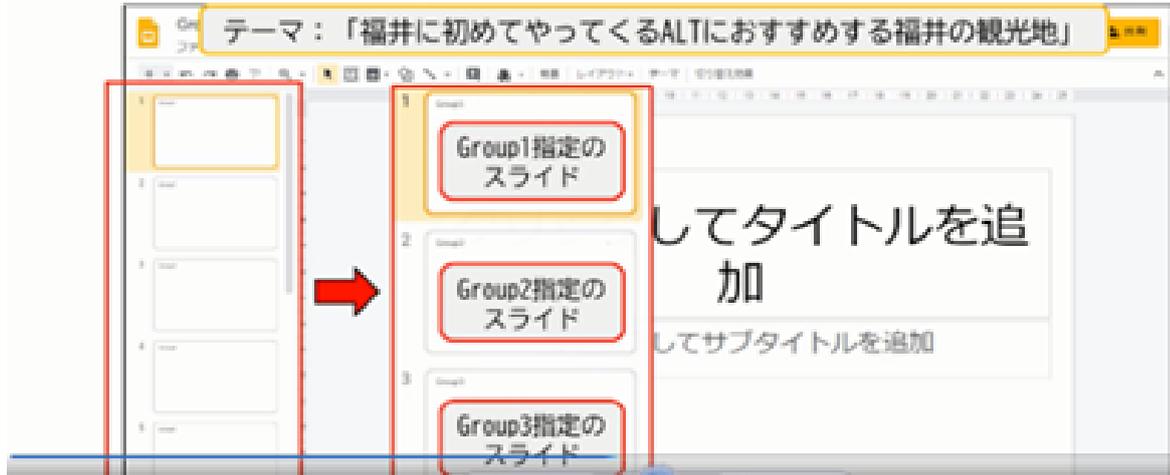
「名前」入力欄

「賛成か反対かの立場」入力欄

Googleスライドを使った児童生徒の同時編集による協働学習

<Googleスライドの配布からシート表示までの手順>

①事前にスライドを作成する。



してタイトルを追加

してサブタイトルを追加

Group1指定のスライド

Group2指定のスライド

Group3指定のスライド

教科別クラスルームにはGoogleクラスルームの作成方法やGoogleスプレッドシート、Googleスライド、Googleフォームといったアプリケーションの利用方法を説明する基礎動画などが投稿されています。

○授業でのタブレット端末の活用事例



教科別クラスルームでは各教科で先生方がタブレット端末を活用している授業動画やタブレット端末に関する情報が随時投稿されます。また、英語のクラスルームではAI音読アプリケーションの活用動画も投稿されています。もちろん先生方の専門外の教科のクラスルームに参加していただけて嬉しいです。

○教員の意見交換

☰ 【社会】タブレット端末活用ネットワーク 手順 生徒の提出物

勝山高校の堂森先生は、校内のタブレット端末活用促進のために、ご自分の地理歴史・公民科での活用事例をもとにタブレット端末通信を作成されました。こちらは第1号の通信です。失敗談なども含めてとても勉強になる通信となっております。先生方、ご覧になって、よろしければコメントなどをいただけたら・・・と思います。また、作成された堂森先生もよろしければ作成の意図など教えていただきたいです。

勝山タブレット通信.pdf
PDF

👤 クラスのコメント 3 件

 二丹田雄一t 5月31日

昨年度、堂森先生のタブレット活用型授業を見せていただきました。jamboardをグループで共有使用されていたのが非常に印象深かったです。本校（福井南特支）ではまず教員間でjamboardを活用していこうと考えているのですが、消してしまった以外での失敗談や、効果的だった成功談などをお聞かせいただけるとありがたいです。（ちなみに本校では授業研究会のグループ協議でjamboardを活用予定です。）

 堂森峰春t 6月2日

堂森です。勝山高校は昨年度同窓会からipadの寄贈を受けました。9月からそれが使えるようになったので、授業の中で使ってみてその様子を学校内で共有して、授業での実践を増やそうとして作ったのがタブレット通信です。同じ時期に研究所からも通信が出ていたので、その校内版として発行するようにしました。うまくいかないことの方が多かったです。年度末からはクロームブックが使用可能になり、授業の中で使用される先生が増えました。英語の発表の事前準備として、生徒間で意見集約をさせた先生もおいでになります。この先生は、授業中ではなく、時間を定めずに生徒間で共有させていました。jamboardは付箋が必ず正方形になり、文字の折り返しが無くなるのが課題だと思います。

クラスルーム内ではタブレット端末活用に関して自由に意見交換したり、情報共有したりできます。先生方からタブレット端末を活用した授業内容について投稿していただければと考えています。また、タブレット端末活用に関するお悩みやご質問なども受け付けています。何でもご相談ください。